

公開シンポジウム「最先端の歯科バイオマテリアル」の開催

1. 主 催：日本学術会議歯学委員会臨床系歯学分科会、日本歯科保存学会
2. 後 援：日本医歯薬アカデミー
3. 日 時：平成22年10月29日（金）13：30～15：30
4. 場 所：長良川国際会議場 A会場（メインホール）
（岐阜県岐阜市長良福光2695-2）

5. 開催趣旨：

歯科医療においては、歯科インプラント、義歯、歯冠修復材料など、歯科材料が果たす役割が極めて大きいといえます。これまでも基礎研究さらに臨床研究を通じて、良好な臨床成績が得られる歯科材料を開発するための努力が着実かつ広範に積み重ねられてきました。旧来、当該分野においては専ら口腔・顎・顔面領域の喪われた形態を回復するという観点から、より優れた材料が追求されて参りましたが、近年においては生体に対する安全性、適合性、親和性を必須基盤とし、生体に対して積極的に働きかけ、生体が有する本来の機能を回復し健康を増進させることのできるバイオマテリアルが探求されています。

今回、歯学委員会臨床系歯学分科会では特定非営利活動法人・日本歯科保存学会の全面的な協力を得て、「最先端の歯科バイオマテリアル」と題する合同シンポジウムを企画しました。本シンポジウムにおいては、斯界の最前線で活躍しておられる研究者・臨床家に、歯科臨床現場で現在応用されている最新のバイオマテリアルについて分かりやすく説明していただくとともに、その問題点ならびに将来展望について語っていただきます。本シンポジウムの開催を通じ、最先端の歯科バイオマテリアルに関する最新情報を広く一般の方々に提供して理解を深めていただくとともに、それらの新規開発に取り組む上での道標といたします。

6. シンポジウム次第

開会の挨拶

- 13:30-13:40 渡邊 誠（日本学術会議会員、東北福祉大学総合福祉学部教授・感性福祉研究所副所長）
吉田 隆一（第133回日本歯科保存学会学術大会長）

講演1 アパタイト・コラーゲン複合体による骨再生

- 13:40-14:10 演者：岡崎 正之（日本学術会議連携会員、広島大学大学院医歯薬学総合研究科）
座長：渡邊 誠（日本学術会議会員、東北福祉大学総合福祉学部教授・感性福祉研究所副所長）

講演2 高次機能性を有する修復材料

14:10-14:40 演者：今里 聡（大阪大学大学院歯学研究科）
座長：恵比須 繁之（日本学術会議連携会員、大阪大学大学院歯学研究科教授）

講演3 Mineral Trioxide Aggregate による象牙質/歯髄複合体の再生

14:40-15:10 演者：興地 隆史（新潟大学大学院医歯学総合研究科）
座長：須田 英明（日本学術会議連携会員、東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科教授）

質疑応答とまとめ

15:10-15:25 座長：恵比須 繁之（日本学術会議連携会員、大阪大学大学院歯学研究科教授）
須田 英明（日本学術会議連携会員、東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科教授）

閉会の挨拶

15:25-15:30 須田 英明（日本学術会議連携会員、東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科教授）

※申込み不要、参加費無料

【問い合わせ先】

日本歯科保存学会 2010 年度秋季学術大会（第 133 回）運営事務局

〒170-0003 東京都豊島区駒込 1-43-9 駒込 TS ビル 3F

（財）口腔保健協会コンベンション事業部内

TEL：03-3947-8761

FAX：03-3947-8873